

科目名	身体障害治療学演習 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 2年 前期
【授業の目的・ねらい】 身体障害領域における作業療法を学ぶ							
【実務者経験】 順心病院、石川病院にて、身体障害領域での急性期・回復期・維持期の幅広いリハビリテーションに従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 解剖学生理学運動学と病態とのつながりと病態に関する医師ほかの関わりや各種治療法と作業療法との関連がわかる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	中枢神経障害（脳血管障害）リハビリテーション概要						
2	中枢神経障害（脳血管障害）評価						
3	中枢神経障害（脳血管障害）評価						
4	中枢神経障害（脳血管障害）上肢機能訓練						
5	中枢神経障害（脳血管障害）脳卒中後片麻痺の機能回復						
6	中枢神経障害（脳血管障害）高次脳機能障害						
7	中枢神経障害（脳血管障害）高次脳機能障害						
8	中枢神経障害（脳血管障害）高次脳機能障害						
9	中枢神経障害（脳血管障害）高次脳機能障害						
10	中枢神経障害（脳血管障害）高次脳機能障害						
11	中枢神経障害（頭部外傷）						
12	骨関節障害（骨折）						
13	骨関節障害（腱板損傷）						
14	骨関節障害（腱板損傷）						
15	神経筋障害（末梢神経損傷）						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスターシリーズ 身体障害作業療法学（メジカルビュー）							
【準備学習・時間外学習】 各疾患に関しては内科学、整形外科、神経内科学、老年期学、リハビリテーション医学、一般臨床医学などで学修するが、前後することも多いのでしっかり予習復習に時間を取る。また、評価学とも重複する部分はあるが前後することも多い。そのため、並行してしっかり学修しておくこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							